

平成26年度
決算説明資料

平成27年10月8日

環境局

目 次

	頁
1 池干しの実施状況 -----	1
2 住宅用創エネルギー機器設置補助の実績及び買取価格の推移 -----	2
3 環境保全設備資金融資の実績 -----	3
4 国道23号沿道における二酸化窒素濃度 -----	4
5 名古屋市自動車公害対策推進協議会における協議事項 -----	6
6 市が収集する資源6品目の分別状況 -----	7
7 路上禁煙地区における処分量及び定点調査結果 -----	8
8 他都市における公衆便所へのネーミングライツの導入状況 -----	9

1 池干しの実施状況

(1) 目的

- ア 生き物と触れあい、自然や生き物への関心を深めてもらうこと。
- イ 池の中に生息・生育する生き物を調査すること。
- ウ 外来生物を除去し、在来生物が生息・生育しやすい環境を取り戻すこと。

(2) 実績

区 分	平成25年度	平成26年度
主催団体	なごや生物多様性保全活動協議会	名古屋中村法人会青年部・女性部
協力団体	<ul style="list-style-type: none"> ・富士見台学区連絡協議会 ・富士見台小学校 ・千種土木事務所 	<ul style="list-style-type: none"> ・中村、豊臣、諏訪、稲葉地学区の関係団体（学区連絡協議会、小学校PTA、子ども会） ・なごや生物多様性保全活動協議会 ・中村土木事務所
実施場所	茶屋ヶ坂池（千種区）	太閤池（中村区）
実施日	11月17日	10月12日
参加人数	110人	100人
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・在来生物（ニホンイシガメ、ナマズ、テナガエビ等）を観察し、放流した。 ・外来生物（ミシシippアカミミガメ、ブルーギル、オオクチバス等）を観察し、除去した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・在来生物（ニホンスッポン、ニホンウナギ、スジエビ等）を観察し、放流した。 ・外来生物（ミシシippアカミミガメ等）を観察し、除去した。

2 住宅用創エネルギー機器設置補助の実績及び買取価格の推移

(1) 住宅用創エネルギー機器設置補助の実績

区 分		平成25年度	平成26年度
太陽光発電設備	件 数	1,980件	1,064件
	設備容量	8,936 kW	5,151 kW
	金 額	97,623千円	114,462千円
太陽熱利用設備	件 数	47件	20件
	集熱面積	271m ²	118m ²
	金 額	3,335千円	1,638千円
燃料電池システム	件 数	194件	195件
	金 額	9,700千円	9,750千円

(注1) 太陽光発電設備の補助対象については、平成26年度から既存住宅のみとした。

(注2) 太陽光発電設備の平成25年度の件数の内訳は、新築住宅905件、既存住宅1,075件である。

(2) 固定価格買取制度における買取価格の推移 (太陽光 10 kW未満)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
買取価格 (円/kWh)	42	38	37

3 環境保全設備資金融資の実績

区 分	平成25年度		平成26年度	
	件数 (件)	金 額 (千円)	件数 (件)	金 額 (千円)
地球温暖化防止等のための エネルギー対策 (太陽光発電設備の設置)	3	12,500	—	—
地球温暖化防止等のための エネルギー対策 (LED照明への付替え)	1	1,500	—	—
自動車対策 (ディーゼル自動車の買換え)	—	—	1	11,500
自動車対策 (低公害車の購入)	15	43,400	5	19,300
合 計	19	57,400	6	30,800

4 国道23号沿道における二酸化窒素濃度

(1) 測定結果

局名	平成25年度			平成26年度		
	測定結果 (ppm)	基準等との比較		測定結果 (ppm)	基準等との比較	
		環境基準 (0.06ppm)	環境目標値 (0.04ppm)		環境基準 (0.06ppm)	環境目標値 (0.04ppm)
◎ 元塩公園測定局	0.052	○	×	0.053	○	×
① 宝神観測局	0.053	○	×	0.050	○	×
② いろは町観測局	0.046	○	×	0.047	○	×
③ 東築地町観測局	0.044	○	×	0.044	○	×
④ 七条町観測局	0.040	○	○	0.038	○	○
⑤ 要町観測局	0.056	○	×	0.046	○	×

(注1) 測定結果の数値は、日平均値の年間98%値を示す。

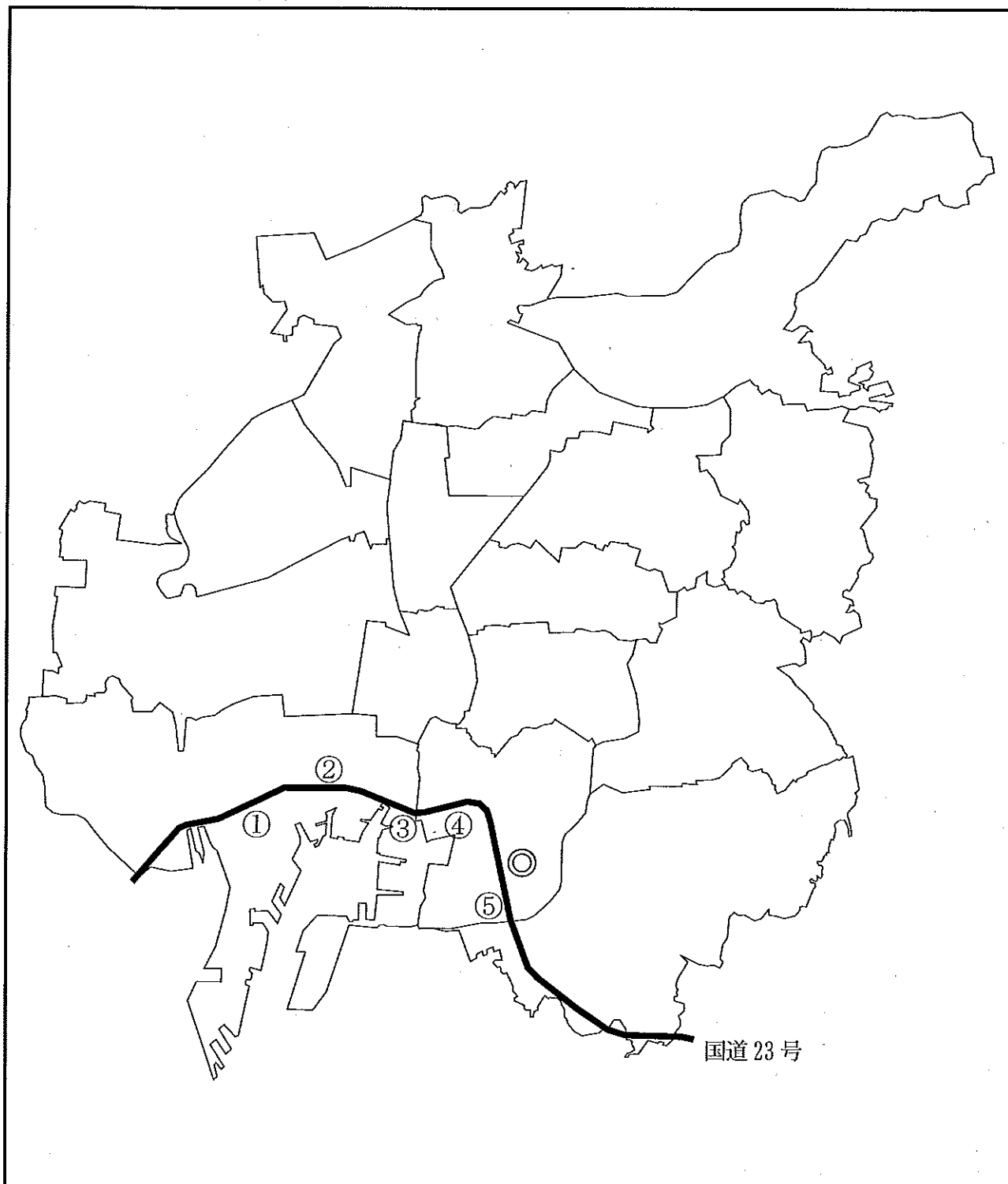
(注2) 環境基準は0.06ppm以下を○、0.06ppm超を×で示した。

(注3) 環境目標値は0.04ppm以下を○、0.04ppm超を×で示した。

(注4) ◎は市、①～⑤は国土交通省中部地方整備局が管理している。

(注5) ①～⑤の測定結果は、国土交通省中部地方整備局の公表資料による。

(2) 測定局等の配置図



(注) 測定局・観測局の記号は、(1) の表中の記号を示す。

5 名古屋市自動車公害対策推進協議会 における協議事項

年 度	協議事項
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2次なごや自動車環境対策アクションプランの進捗状況 ・ 関係機関、団体等における自動車環境対策の取組み ・ 自動車環境対策の推進に関する国家要望
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2次なごや自動車環境対策アクションプランの進捗状況 ・ 関係機関、団体等における自動車環境対策の取組み ・ 第2次なごや自動車環境対策アクションプランの一部改正 ・ 自動車騒音優先対策マップの更新 ・ 自動車環境対策の推進に関する国家要望

6 市が収集する資源6品目の分別状況

区 分	平成22年度		平成26年度	
	資源分別量 (t)	資源分別率 (%)	資源分別量 (t)	資源分別率 (%)
プラスチック製 容器包装	28,139	61	23,224	47
紙製容器包装	10,980	50	7,897	34
空きびん	16,695	94	15,342	95
空き缶	4,547	86	3,713	85
ペットボトル	7,090	90	6,696	93
紙パック	553	29	401	23

(注1) 資源分別量は市が収集し、再商品化事業者に引き渡した量と家庭系自主回収量（集団資源回収など市民による自主的な資源回収量）の合計である。

(注2) 資源分別率は「資源分別量／（資源分別量＋ごみの中に含まれていた資源の推計量）」により算定した。ごみの中に含まれていた資源の推計量は「ごみ細組成等調査」から推計した。

(注3) 紙パックには、スーパー等が独自に回収し、資源化した量を含まない。

7 路上禁煙地区における処分件数及び 定点調査結果

(1) 処分件数

区 分	平成19年度	平成26年度
処分件数	5,533件	1,873件

(2) 定点調査結果

区 分	地区指定告示日前日 (平成17年2月24日)	平成26年度
喫煙率	4.742%	0.042%
たばこの吸い殻数	553本	96本

(注1) 平成26年度の数値は、定点調査1日あたりの平均である。

(注2) 喫煙率とは、定点を通行した喫煙者数を、通行人数で除したものである。

(注3) 吸い殻数とは、定点で回収された吸い殻の数である。

8 他都市における公衆便所への ネーミングライツの導入状況

都市名	愛称 (契約者)	期間	契約金額 (千円/年)
東京都 渋谷区	恵比寿KANSEIトイレ (管清工業株)	平成25年4月 ～28年3月	1,350
	渋谷区立表参道ヒルズ公衆便所 (森ビル株)	平成26年4月 ～31年3月	120
	神宮前シブミックトイレ (日本カルミック株)	平成25年4月 ～28年3月	210
	区役所前トイレ診断士の廁堂 (株アメニティ)	平成24年4月 ～30年3月	100
	渋谷駅西口シブアクショントイレ (一社)日本エンパワーメント コンソーシアム)	平成26年4月 ～29年3月	105
横浜市	ドゥアメニティ新横浜駅前 トイレ診断士の廁堂 (株アメニティ)	平成23年10月 ～29年10月	0
京都市	舞妓体験処「心」のトイレ (株豊かな気持ち)	平成25年4月 ～28年4月	150
	蛇口屋稼業 <small>かくだい とうす</small> 因 東司 (株カクダイ)	平成25年4月 ～28年4月	100
	京都東山トイレ診断士の廁堂 (株アメニティコスモス始め3社)	平成25年4月 ～28年4月	100

